



平成 31 年 3 月 22 日(金)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎 晃二

開四小だより

春休み号

自分の一歩

校長 河崎 晃二

校庭の桜も咲き始め、春の訪れを感じる今日この頃です。3月は、子供たちにとっては、1年間共に学んだ大切な仲間や先生、お世話になった職員との別れの月でもあります。6年生にとっては、6年間学び続けた開進第四小学校との別れも訪れます。25日は、小学校の義務教育課程をつつがなく卒業する日となります。新しい人生に向かって、新たなスタートをきる節目の季節です。

*

6年生の新たなスタートに向けて、私の好きな宮澤章二さんの詩「自分の一歩」の一部を紹介します。

他の人より一歩先に歩くからといって 他の人より優れているとは限らない
他の人より一歩後を歩くからといって 他の人より劣っているとは限らない

宮澤章二さんのことは、ACジャパンの2010年度キャンペーンCMに使用された『「こころ」は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える』『「思い」は見えないけれど、「思いやり」は見える』の詩の一節がきっかけで知りました。とてもインパクトがあり興味をもちました。

CMの詩は「行為の意味」という詩の抜粋です。簡単な表現ですが、言葉に重みがあり、素晴らしい表現だと思いました。

この詩の題名の詩集「行為の意味」の中に「自分の一歩」が載っていました。この詩には、これから未来に進む子供たちが、自分の目標や夢に向かって一步一步自分を信じて着実に歩んでほしいという願いが込められています。これから始まる中学校生活において、期待と不安の入り交じった中で、自分の夢を大切に自分の力を信じ、夢の実現に向けて自分の人生を切り開いてほしいと思っています。途中で悩み自分の歩んでいる道を見失うことがあるかもしれませんが、人と比べるのではなく自分をしっかりと見つめ直すことが大切です。

*

さて、この一年間、様々な学校行事や地域行事を通して、子供たちを見守ってくださった保護者の皆様のお力添えを私は強く感じました。また、地域においても町会の皆様や、学校応援団をはじめとするボランティアの皆様に見守られ、地域の伝統と文化の中で子供たちが成長する姿を目の当たりにしました。皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新年度に向けて学校は、準備が始まっております。どうぞこれからも開四小の教育活動を支えるために、皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。